

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成26年1月9日(2014.1.9)

【公開番号】特開2013-106961(P2013-106961A)

【公開日】平成25年6月6日(2013.6.6)

【年通号数】公開・登録公報2013-028

【出願番号】特願2012-256226(P2012-256226)

【国際特許分類】

A 6 1 F 5/02 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 5/02 N

【手続補正書】

【提出日】平成25年11月19日(2013.11.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項4】

前記副木近位部分は、脹脛の最大外周の高さ位置で $15 \pm 2 \text{ mm Hg / cm}$ (約 $20 \pm 2 \text{ hPa / cm}$) の高い剛性を有する部分である請求項1に記載の装具。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項5】

前記副木近位部分は、脹脛の最大外周の高さ位置で $5 \pm 2 \text{ mm Hg / cm}$ (約 $7 \pm 2 \text{ hPa / cm}$) の中程度の剛性を有する部分である請求項1に記載の装具。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0078

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0078】

例示的な実施態様では、蒸発による硬化後に、本明細書において上記で定義したような脹脛の領域におけるソックスの全周にわたる塗布には、樹脂の初期重量に対して 12 g の樹脂がソックスに加えられたことが観察されている。得られた最終的な剛性は約 15 mm Hg / cm (20 hPa / cm) であった。